

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19679005	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	ヒトの発生・老化における癌原遺伝子の新たな役割の解明	研究代表者 (所属・職)	青木 洋子（東北大学・大学院医学系研究科・准教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者らは2008年に本研究の主軸となる成果を基に、RAS/MAPK 症候群という疾患概念を提唱し、それに引き続きその本体を明らかにするためにモデルマウスを作製していることは注目に値する。これらのモデルを解析することにより、本症候群の病態解明が進み、治療法開発に方向性が定められる可能性がある。また、RAS/MAPK 遺伝子変異の関与する関連疾患の遺伝子異常の解析においても新たな知見を提示しており成果が認められる。今後、老化や発がん機序の領域においてもその病態生理の解明に発展が期待できる。</p>	